

天国と地獄、今年は天国？

金城山

栗原

いつも寡雪を危ぶみつつ、なんとか直前には雪が積もってラッセルトレになる金城山。今年の雪の少なさも半端ないが、若者が少なく少々機動力に欠ける今回は、この寡雪が小屋にたどり着くのちょうどいいんじゃない？！快適な小屋泊まりを思い浮かべながら、今年も新人ラッセルトレを開催した。

12月14日 晴れ夕方雪

いつものように登山口付近に車を停めるが、何かいつもと違う。雪がなく、まるで晩秋なのだ。しめしめ、これなら小屋までたどり着けるぞ。3合目あたりまでは、サクサクと進む。それを超えるとさすがに雪も出てくるが、まだまだラッセルと言うには程遠い。結局、スノーシューを履いたのは5合目辺りだった。

晩秋の陽気にのんびりと進む



トップに行くのは、先輩の貫禄を身に着けつつある星野さん、そして元気な若手新人沼口君。それに大ベテラン棚橋さんがついて、後続にしっかりしたトレースをつけてくれる。後ろを固めるのは新人笹岡さんとすでに貫禄たっぷりの会長飯田さん、そして私。笹岡さんのフォローと称して、これまでで一番楽な金城山だったような……。それでもラッセルが始まるとそこそこ時間がかかり、ガスってしまった

核心部の通過

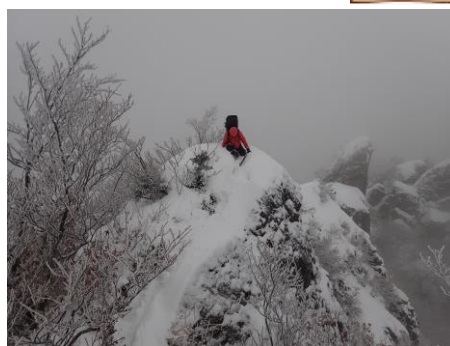
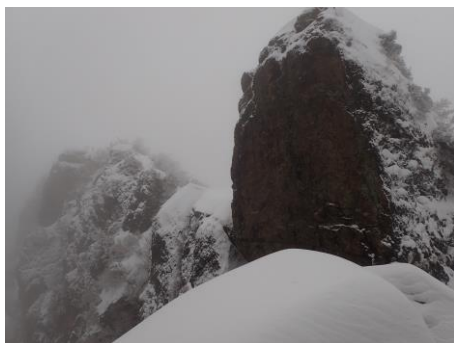


核心部を慎重に通過し、小屋に到達したのは14:40頃だった。小屋に荷物をデポし、雪が降り出さないうちにとすぐに山頂に向かう。ガスって何も見えない山頂で記念写真を撮り、小屋に戻る。さて、お待ちかねの宴会、美味しいつまみと酒と楽しい語らいは、ラッセルで疲れた沼口君と重荷に辟易した笹岡さんを、癒やしてくれただろう。



12月15日 曇り

昨晚の雪もさほど積もらず、トレースの跡が残っていた。トレースの上ならさほど潜らないので、アイゼンのまま下る。そうなると下りは早い。核心部を慎重に超えると、あとはひたすらトレースをたどって、再び晩秋のような登山口にたどり着いたのだった。



DATA

山行日

2019年12月14日(土)～15日(日)

行程

12/14 登山口(7:25)～観音山コース～避難小屋(14:40)～山頂往復(15:00)

12/15 避難小屋(7:50)～登山口(10:35)

地形図 六日町

メンバー 栗原(L)、飯田、棚橋、星野、沼口、笹岡